

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月17日
事業名	武道館維持管理事業	担当課・係名	スポーツ健康課 スポーツ推進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	24
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	武道館の維持管理及び運営 町民の武道振興				
対象 (誰を・何を)	全町民				
内容	武道団体の活動への支援、武道（柔道、剣道、空手道）のスポーツ教室を実施し参加者の体力向上、心身の健全な発達に寄与する				
根拠法令・条例等	スポーツ基本法、大磯町立武道館条例				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,003	1,397	905
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	1,003	1,397	905
	職員人数 (概算職員数)	人			0.32
	人件費計 (b)	千円			1,961
総事業費 (a)+(b)	千円	1,003	1,397	2,866	
事業費内訳 H 25 年度	需用費：79千円 委託料：826千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 利用登録団体	件	28	35	36
	② 利用可能件数	件	1,360	1,456	1,440
活動指標 (活動量)	① 利用件数	件	1,039	1,050	1,070
	②				
成果指標 (達成度等)	① 稼働率	%	76.4	72.1	74.3
	②				

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 スポーツ基本法において、市町村は広く住民が自主的かつ積極的に参加できるようなスポーツ行事を実施するよう努めなければならないと規定されている。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 指導者が所属する団体の指導内容は子供から大人まで広く指導することができ、参加者への指導方法についても精通しているため、武道教室を継続して行うことに適している。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 年々利用団体が増加していることから費用に見合う実績は上がっており、町民に対する武道の振興として有効な施設である。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 専門性を持ち、適切な指導を行うことの出来る武道団体に委託することにより、効率よく武道の普及が行われている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input checked="" type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 図られていない。
	担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 スポーツ教室も継続して行われており、武道団体利用者も多い事から、武道の推進に努めることが出来ていると考える。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	使用申請の方法は、使用承認申請を提出する方法で管理しているが、神奈川県公共施設利用予約システムの導入について検討を行う。
② 平成26年度に着手する事項	神奈川県公共施設利用予約システムの導入について検討を始める。
③ その他（課題、調整事項等）	なし。

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

使用申請の方法については、神奈川県公共施設利用予約システム等の導入の可否について検討及び共通利用券について検討を行う。
